

磐城時報

石城郡平町新聞社
編輯長 岡田 弘成
印刷所 石城郡平町新聞社
印刷部 石城郡平町新聞社
電話 一四七
代金 一月一元二角 三月三元五角 半年六元 一年十二元
廣告料 一行一十字 一月一元五角 三月三元五角 半年六元 一年十二元
印刷 (日曜、祭日) 休刊

有名無實を通りこして 不成績な平青訓所

入所生僅か二十名で 経費は一人當り五十圓

平町の青年訓練所は逐年入所生が激減し當局が大量の勸誘も効無く現在では該當者三百五十名に過ぎず全く名目のみの存在となつてゐる、而してこの経費は九百八十九圓でこれを一人頭にするれば一生徒約五十圓を要する譯で中等學校生徒よりも大なる額となるので斯では町財政の極度に逼迫してゐる折柄矛盾してゐる使途であるが、非難の聲が高まつてきたので當局では頗る苦にやんでゐるが、現在の訓練所の組織では挽回は到底困難の事と観られるので明年度あたりから名實共に形式的なものになるのではなからうかと懸念されるに至つた。

契約延期

大敷網漁業の 既報小名濱、江名漁業組合對高橋氏の 大敷網漁業組合問題が縣の調停により圓滿解決を見たので正式の委託契約取交はし十六日福島市において行ふ筈であつたが、高橋氏病氣にて大原病院に入院中なので来る二十五日に延期し平町住吉屋旅館に行ふことになつた。

勿來町長歡送會

石城郡勿來町では有志主催で前町長大平陸四郎氏の送別を兼ねて名實共に形式的なものになるのではなからうかと懸念されるに至つた。

平町の近郊合併は 經濟問題で至難か

平町では既報の如く大平建設運理由とする所は地方自治の傳統動として十五日午後一時から第二次隣接町村合併委員会を開き經濟的方面から見て新興平町は關係地方者と共に協議したが、戸數割其他に於て一戸平均率が同運動の前途は現在の所可成り十七圓で相當に高く、是に比し至難の様となつた。即ち是が附近町村は炭礦等の地勢上低率

井上、野崎 兩縣議渡滿

縣會議員井上茂作、野崎滿藏兩氏は縣會議員五名の滿州視察員として二十四日午前二時二十二分平驛發列車で出發する。

健康相談所

平郵便局内健康相談所の來所者は開設以來毎日三十名乃至四十名あり、豫想以上の健康相談に多大の至難を與へる譯であつて平町が同問題に多大の讓歩折衝に出るに及ぶ。現任の二診察室では酒の消費は例年に比して多くなり、財源が未だその運びに至らず、殊に夏井川に關しては平土木監督所の過去十年間に亘る被害調査によれば、年々流砂のため河口を塞がれ洪水時には逆流し上流新川まで氾濫しその被害年々二十萬圓以上に達し莫大な損害を蒙つてゐる、これが充分な改修費を約五十萬圓を要するので國費を仰がねば到底實現は望まれない。

平町の蠶業取締所 六月中には完成

寄附完納は疑問視さる

平町に蠶業取締所設置に決つたが、この一兩日前から魚群定以來設計、寄附採納、その他が襲來して漁村は活氣づき毎日賑に恵まれ連日萬余の出入があつて花時以上の賑ひを呈してゐる。向又日本風景の一とされた石城郡大浦村新舞子濱も漸く磯濱に遊ぶに相應しい好季節となり、同郡川前村夏井溪谷の新緑美と共に野趣を採つぬる人々によつて可成りの賑ひよりである。

酒消費量から見た 平町花時の景氣

四月中一千五百石で 一人當り五合五勺

石城酒造組合調査による郡内四石城郡各河川中藤原川、矢田川、四石で人口に相當する一人平均均五合五勺である。本年は平町郡南鮫川及び郡北夏井川等は降雨毎た附近一帯は甚大の被害を受け地元部落民は國庫補助を仰ぎ徹底的改修實現を要望してゐるが未だその運びに至らず、殊に夏井川に關しては平土木監督所の過去十年間に亘る被害調査によれば、年々流砂のため河口を塞がれ洪水時には逆流し上流新川まで氾濫しその被害年々二十萬圓以上に達し莫大な損害を蒙つてゐる、これが充分な改修費を約五十萬圓を要するので國費を仰がねば到底實現は望まれない。

平町附近の 遊覽地賑はふ

平町松ヶ丘公園の有名なつじは、昨今見頃となり燃える様な絢爛ぶりに咲き亂れ遠近の見物人を集めてゐるが、昨今折柄の快晴に恵まれ連日萬余の出入があつて花時以上の賑ひを呈してゐる。向又日本風景の一とされた石城郡大浦村新舞子濱も漸く磯濱に遊ぶに相應しい好季節となり、同郡川前村夏井溪谷の新緑美と共に野趣を採つぬる人々によつて可成りの賑ひよりである。

女工八百名 赤井嶽登山

水戸地方煙草專賣局男女女工八百名は六月三日水戸驛午前六時四十五分赤井嶽八時四十五分着で赤井嶽に登山し、午後四時十分歸水する。

木炭生産高

濱三郡の木炭生産高は昨年二百萬俵突破といふ組合創立以來の數字を示した。ゆゑ理事者は雀躍し、今年には更に四十萬俵を増す計劃のもとに大馬力をかけてゐるが、意外にも四月の生産検査高は、石城郡七萬二千五百一俵、双葉郡七萬四千七百七俵、相馬郡二萬三千四百七十三俵、合計十六萬八千二百四十一俵で前年同期より四萬三千七百一俵も激減したので理事連中こころをなやまして、前途を悲觀してゐる。

千年前の 人骨發見

石城郡大浦村大字上仁井田字岸前四倉セメント工場の裏山蛭尾にあり二個の洞穴が現れたので附近の者が好奇心から中を覗いたところ人骨らしいものとひそひそ思はれる曲玉が無數に散在してゐるのを發見所轄署四倉署に届出たが、十五日磐城高等女學校の山口教授が實地調査を行つた、山口氏は約一千年以上のもので洞穴は墓跡と思はれると語つてゐるが、氏は直ちに東京帝大の人類學教室に曲玉及び骨考資料を送つて研究方を依頼した。

鶏卵下落

養鶏業は不況打開策として郡南方部を初め急進發展をなし大いに今後農村副業として嚆望されたいが、昨今鶏卵の市場価格は十割内外を往來し數年前に比し約二倍以上の下落を示してゐる。

平町人事

出生
三丁目一大阪府豊能郡麻田村麻田一六一五江原一郎長女英子、田町四七永山敏三女ミドリ
死亡
久保町三七高橋ミノ(五二)

危うく轢死を免る 危険な線路上の遊戯

湯本町入山炭礦専用線石炭を積停車したので危うく轢死を免れた。右は湯本町宇本町勝正二男吉田文(五ツ)と判明したが、之がため列車は四分間遅延した。

鮫川、夏井川 改修を要望

石城酒造組合調査による郡内四石城郡各河川中藤原川、矢田川、四石で人口に相當する一人平均均五合五勺である。本年は平町郡南鮫川及び郡北夏井川等は降雨毎た附近一帯は甚大の被害を受け地元部落民は國庫補助を仰ぎ徹底的改修實現を要望してゐるが未だその運びに至らず、殊に夏井川に關しては平土木監督所の過去十年間に亘る被害調査によれば、年々流砂のため河口を塞がれ洪水時には逆流し上流新川まで氾濫しその被害年々二十萬圓以上に達し莫大な損害を蒙つてゐる、これが充分な改修費を約五十萬圓を要するので國費を仰がねば到底實現は望まれない。

レコード破りの石炭大特賣

磐城炭礦二等炭

正味十貫匁一俵金卅錢也

「品が良く」「値は安く」をモットーとする當店は、此度超破格の格安石炭を販賣開始致します。値が安くとも品は悪くはありません。磐城炭礦の處分の大堀出物です。品物の無くならない中に御注文下さい。

配達は一俵より致します。

御注文は

電話二三七番へ

阿部石炭商店

平 停車場前

油と味噌

山崎合名會社

福島縣平町

電話(營業部専用)一〇番
電話(一般用)二七番
振替東京一九七五五番

明治生命 磐城代理店 山崎與三郎

印刷物の御注文は

加納活版所へ

最新式機械増設

御名刺、葉書等は

御待ち中に仕上げます。

加納活版所

電話四〇九番

坊やのおち



ドライは…(粉ミルク)

吾が育児界に誇り得る唯一の國産粉未牛乳で如何に眞夏と雖、長期の保存に堪へお湯さへ加へれば純良、濃厚な色、味香共に勝れし母乳と同じ養養價の新鮮牛乳を得られます。

半ポンド 九〇
一ポンド 一七〇
三ポンド 五〇〇

四季を通じて完全母乳代用品

永森 ドライミルク

地方代理店

關内藥局

電話四〇番

飲料

オリガビール
純粕取焼酎
サイダー各種

平町山永
町酒山永
店 塔七〇二電

胃腸科 専門

内科 専門

十二指 腸胃病
虫腸病 胃性病

婦人病 皮膚病

村松 院 醫科
町南町平
(七〇一話電)

釜屋商店

鼻の薬 チクノール

平五 山野邊藥局

各種運動具…特賣

- ▲野球用具
- ▲各種運動服裝
- ▲月星運動靴

御用命は 大塚運動具部へ

平・田町 電話七七番

特賣會

- レンコート……………特賣
- 春のセビロ……………特賣
- 春のスボン……………特賣
- 夏トントン……………特賣
- 防水マント合ゴム上等品……………一圓三十五錢
- 紺サ・ジ通學服……………三圓四十錢

平町四丁目停車場通

正札堂洋服店

電話四三六番

公債 高價買入

勸業債券

御一報次第店員參上可仕候

平町五丁目二二

佐々木株式店

電話二五三番